

(案)

第2期

東

広

島

市

生涯学習推進計画



発行: 令和6年 月

東広島市教育委員会 生涯学習部 生涯学習課
〒739-8601 広島県東広島市西条栄町8番29号
電話 082-420-0979 FAX 082-422-1610
メール hgh200979@city.higashihiroshima.lg.jp



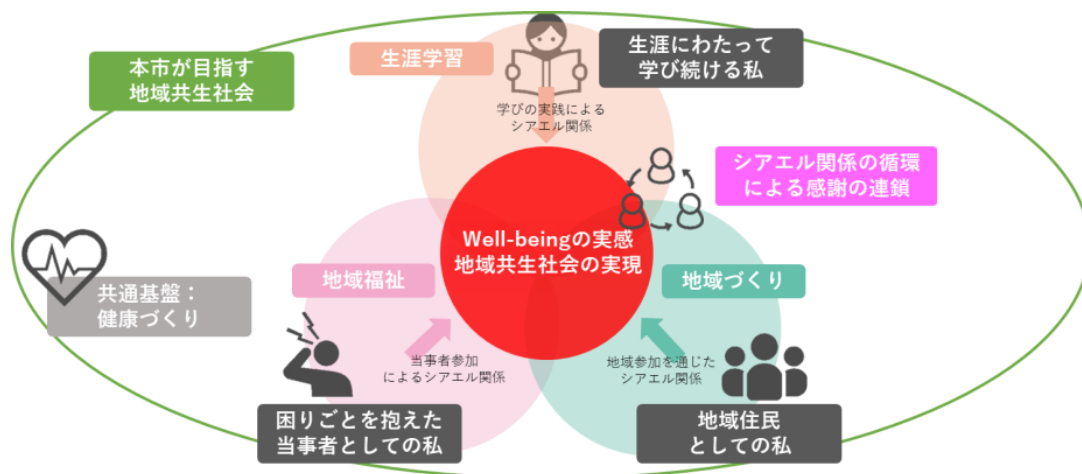
1 計画策定の趣旨

東広島市の生涯学習における具体的な計画は、平成15年2月に策定した「東広島市生涯大学システムアクションプラン」を基とし、令和元年9月に策定した「第1期東広島市生涯学習推進計画」において、「学習支援」「地域コミュニティの形成」「学びの環境づくり」を重点的に進めてきました。

本計画では、これまで推進してきた「第1期東広島市生涯学習推進計画」の成果と課題、また「第3期東広島市教育振興基本計画」の視点を踏まえ、計画の見直しを図り、本市ならではの施策を推進します。

これにより、学びが地域福祉や地域づくりの実践につながる好循環（地域共生社会）を育み、市民一人ひとりのウェルビーイングにつながることを目指します。

本市が目指す地域共生社会のイメージ図



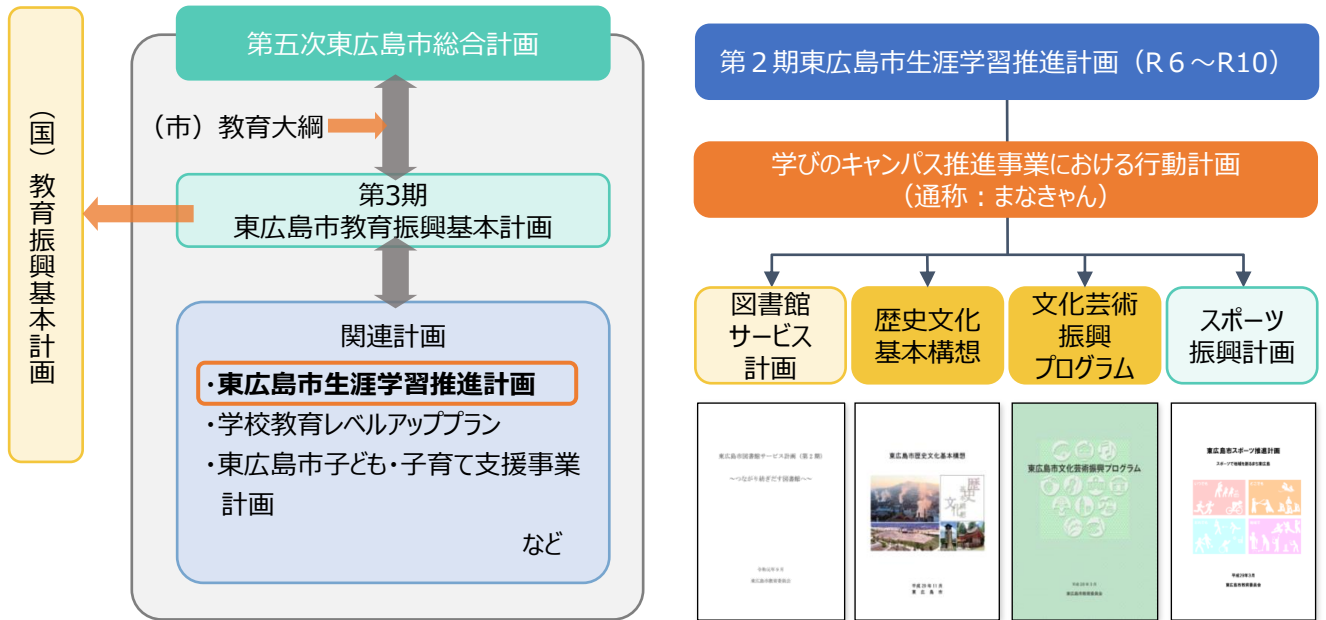
2 計画の位置付け・範囲及び期間

(1) 計画の位置付け

「第2期東広島市生涯学習推進計画」の策定にあたり、本市の最上位計画である「第五次東広島市総合計画」、令和6年2月に策定した「第3期東広島市教育振興基本計画」や関連する他の個別計画との整合を図ります。

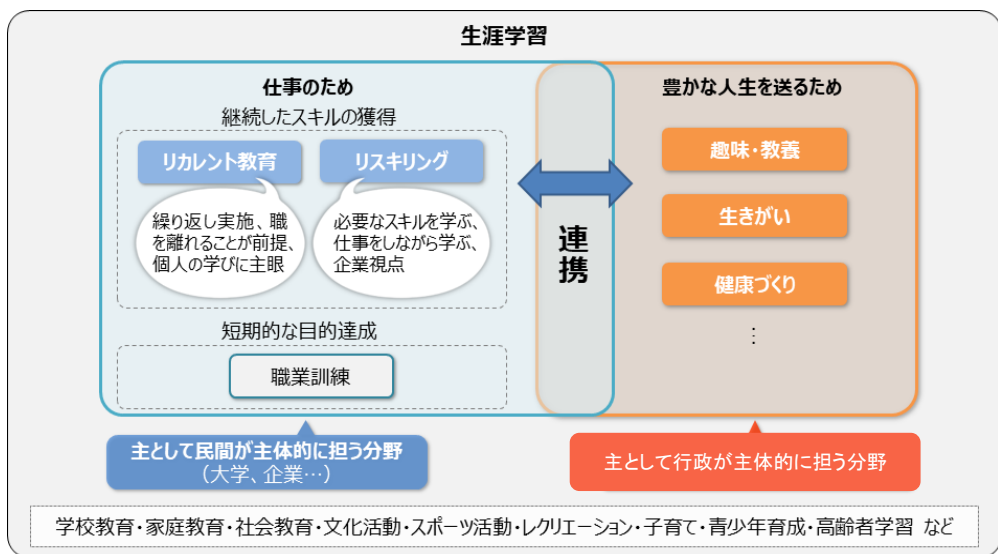
令和4年度に策定した生涯学習の行動計画となる「学びのキャンパス推進事業における行動計画（通称：まなきゃん）」も踏まえ、「学習支援」「図書館事業」「スポーツ振興」「文化芸術振興」「青少年の健全育成」の幅広い学びを推進するとともに、小中学校単位での学びを促進させるため、地域学校協働活動も視野に入れた計画とします。

これにより、生涯学習の基本計画となる生涯学習推進計画は、生涯学習振興の総括的方向性を示すものとして位置付けます。



(2) 計画の範囲

本計画は、広範囲に及ぶ生涯学習の中で、趣味や身近な教養、生きがいなど市民が「豊かな人生を送るため」の学びを、主として行政が推進する生涯学習の分野の施策とし、リカレント教育やリスキリング、職業訓練などの「仕事のため」の学びについては、民間等の主催する学習と連携を図ります。



生涯学習の概念

(3) 計画の期間

令和6年度から令和10年度までの5年間とします。

(1) 基本目標

生涯学習をめぐる社会の動向や第1期東広島市生涯学習推進計画の成果・課題を踏まえ、学びの質の向上を目指し、第1期計画の基本目標に新たな4つの視点を加味して施策を推進します。

生涯学び、活躍できる環境の整備と学びを通じたまちづくりの推進 ～市全体を、学びのキャンパスに～

- ① 本計画は、学習支援だけでなく、スポーツ、文化芸術、青少年の健全育成を包含した計画とします。
- ② 地域の学びは、各地域センターでの学びも大切にしながら、地域学校協働活動の推進に向けた小中学校区単位での学びも促進します。
- ③ 学びの手段として、人と人とのふれあいによる学びも大切にしながら、ICTなどの活用により、DXによる効果的な学びを推進します。
- ④ 施設は、既存の施設を効果的・効率的に活用することを目指します。

基本目標実現のための3つの基本方針

(1) 豊かな学びの推進

- ・ 学習機会の提供については、これまで「主催講座の増加」により、様々な分野の学習機会を増やすことを主としてきましたが、今後は地域課題の解決につながる学習機会の充実を図るとともに、主体的な学びを促進します。

(2) 学びを通じたつながりの形成

- ・ 生涯学習フェスティバルなどを活用し、先駆的な事例やモデルとなる取組などを発表し、市民相互の交流と連携を高めていきます。
- ・ 地域に学びが広がることで、学びがコミュニティ活動や地域福祉・地域づくりなどの実践につながる好循環を育みます。

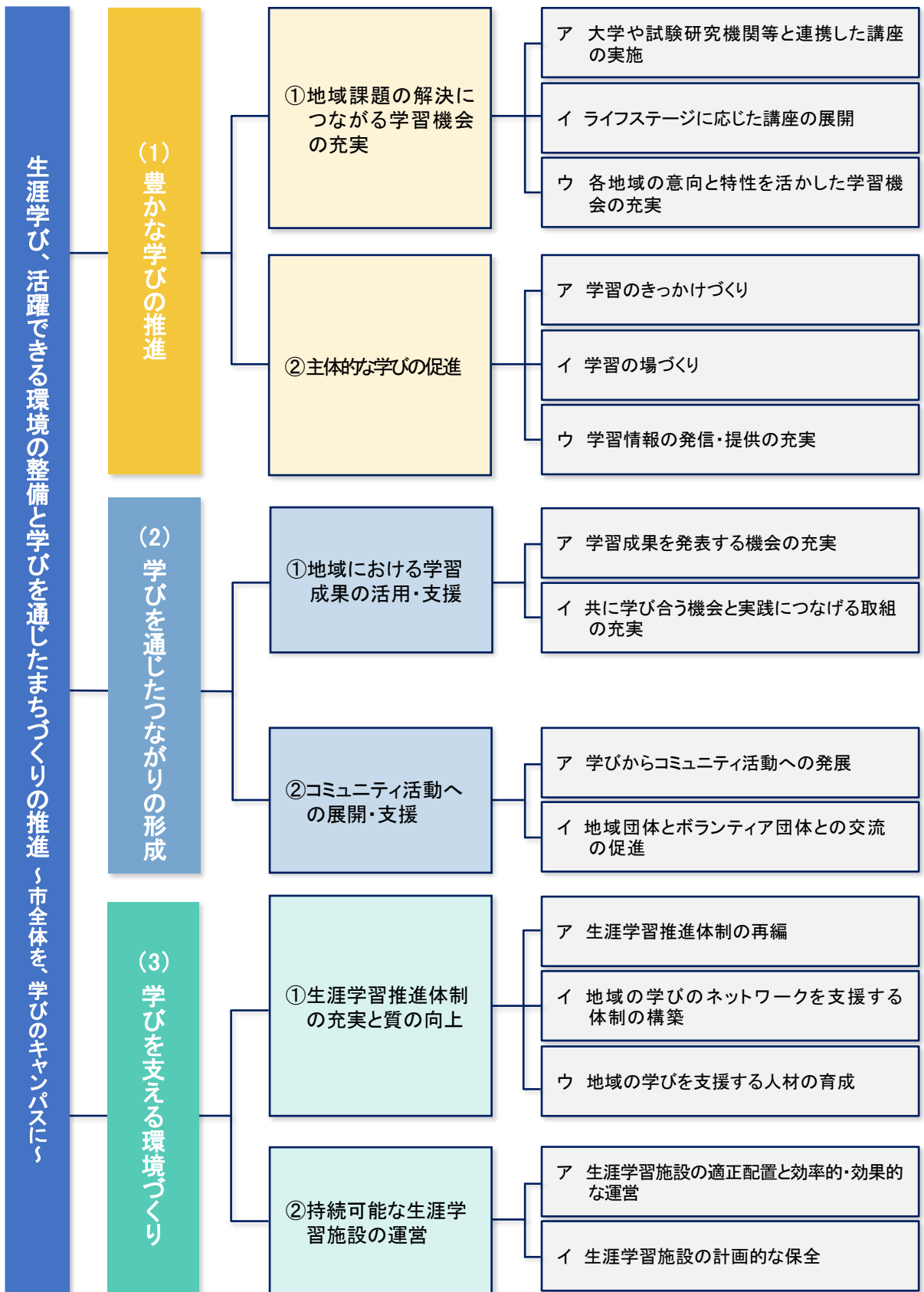
(3) 学びを支える環境づくり

- ・ 多様な講座の実施や施設の効率的活用、市民相互の連携・交流の充実のため、様々な分野の専門家の連携・協働を図るとともに、「公益財団法人東広島市教育文化振興事業団」の体制を充実させます。
- ・ 地域ごとに配置した施設の活用については、地域の特性に合わせた活動が活発化されるような強化を図ります。特に多くの市民が専有的に活用するスポーツや芸術活動が行われている施設は、これらの活動を重点的に行えるような利活用も図ります。

(2) 施策体系

【基本目標】 【基本方針】

【施 策】



東広島市社会教育委員会に報告し、そこでの評価を基に、PDCAサイクルに基づく点検・評価等の進捗管理を効果的に行い、本計画の着実な推進に取り組みます。

成果指標

基本方針(1)豊かな学びの推進	項目	成果指標	現状値(R4)	目標値(R10)
	① 地域課題の解決につながる学習機会の充実	生涯学習を行っている人の割合	49%	55%
		生涯学習に満足している人の割合	42%	100%
		親プロやブックデビューなどのファンリテーターの登録者のうち、年1回以上活動をしている人の割合	9%	15%
		地域課題の解決に向けた講座の占める割合	14%	20%
	② 主体的な学びの促進	どこでも美術館・どこでも博物館、芸術体験事業の満足度の割合	100%	100%
		埋蔵文化財へ興味・関心を持ったと回答した小学生・保護者の割合	100%	100%
		週に1日以上スポーツする人の割合	50%	70%
		芸術施設(くらら、美術館)の若年層の年間利用者数	32,217人	41,000人
		レファレンス件数	5,591件	8,600件
		市民一人当たりの図書等貸出点数	7点	9点
		青少年期の生涯学習パスポートのうち、まなぶちゃんノートの奨励者(既定の利活用数を記録できた者をいう。)達成率	27%	40%
	青少年が関わった地域活動の年間実施数	0回	8回	
	基本方針(2)学びを遊ばしたつながりの形成	項目	成果指標	現状値(R4)
① 地域における学習成果の活用・支援		コミュニティ健康運動パートナーやスポーツ推進委員の年間活動実績数	520回	800回
		生涯学習フェスティバルの来場者数	5,800人	9,500人
		どこでも美術館・どこでも博物館、ユニークベニュー等により地域の文化芸術をつなげる事業の年間実施数	37回	57回
		異年齢交流・体験活動の年間実施数	12回	20回
② コミュニティ活動への展開・支援		各種主催講座等の受講により、コミュニティ活動に取り組んで行こうとする人の割合	84%	90%
		生涯学習センター・地域センター等における自主サークル数	683団体	750団体
基本方針(3)学びを支える環境づくり		項目	成果指標	現状値(R4)
	① 生涯学習推進体制の充実と質の向上	生涯学習指導者人材バンク登録者数	60人	80人
		大学や試験研究機関等との連携事業の件数	4件	4件
	② 持続可能な生涯学習施設の運営	博物館等施設の利用者満足度	82%	90%
		公立ホールの利用者満足度(くららを除く)	94%	98%
		スポーツ施設の利用者満足度	79%	90%
青少年施設の利用者数(第1・第2児童青少年センター)	23,828人	52,000人		